公成建設株式会社 安全衛生ニュース

VOL. 455

発　行
公成建設㈱安全衛生
協力会事務局
編　集
安全衛生委員会
事　務　局

◆年末年始の無事故・無災害に向けて◆

執行役員　建築部長　中村　元紀



今年も残すところ１か月､いよいよ師走を迎えました。12 月は「師（僧侶や教師）も忙しく走り回る」ということからその名がついたとされます。

現代の建設現場においても、完工に向けた工程の過密化や、冬期特有の気象変化などが重なり、文字通り誰もが慌ただしく動き回る季節です。しかし、この「焦り」や「慌ただしさ」こそが、安全管理における大きな危険要因であることを、私たちは決して忘れてはなりません。この時期にいかに危険の芽を摘み取り、災害を未然に防ぐことができるかが、私たちの真価を問う重要な局面となります。

建設業労働災害防止協会の主唱により、令和８年 12 月１日から令和９年１月 15 日まで、「建設業年末年始労働災害防止強調期間」が展開されます。スローガンは「無事故の歳末　明るい正月」です。

当社の安全成績は、皆さんの日頃からの自主的な安全活動によって支えられています。しかし、全産業の死亡災害に占める建設業の割合が、依然として高いという厳しい現実に変わりはありません。特に年末年始は、長期休業を前にした慌ただしさや、休業後の生活リズムの変化などから、注意力や判断力が低下し、労働災害のリスクが高まる時期です。だからこそ、いつも以上に慎重な行動と確実な安全確認が求められます。

さて、この強調期間にあたり、特に「不安全行動の防止」と「冬期特有の災害防止」について、対策を徹底してください。

まず､「不安全行動の防止」です｡重大災害の背景には、不安全な行動や作業手順の省略が潜んでいることが少なくありません｡特に寒さや工程への焦りから､「早く作業を終わらせたい」という心理が働き､「これくらいなら大丈夫」という安易な判断による「近道・省略行動」につながることがあります。こうした妥協を完全に排除し、定められた作業手順を確実に守ってください。また、経験や慣れだけに頼ることなく、TBM・KY 活動を通じて作業に潜む危険を全員で共有し、職種や立場の垣根を越えて、互いに注意し合える「声掛け」を徹底しましょう。

次に､「冬期特有の災害防止」です。冬の寒さは身体を硬直させるだけでなく、動作や判断にも影響を及ぼします。寒さによる血管の収縮や筋肉のこわばりは、身体の動きを鈍らせ、思わぬ転倒やつまずき、墜落などにつながるおそれがあります。特に、凍結による転倒・墜落災害には十分な注意が必要です。作業前にはストレッチなどの準備運動を確実に行い、通路や作業床の凍結状況を確認するとともに、いつも以上に周囲への目配りと声掛けを徹底してください。

さらに､「建設業年末年始労働災害防止強調期間」実施要領のチェック項目を､一人ひとりが自らの目で確認し、形だけの活動に終わらせることなく、実効性のある安全対策を全員で実践していきましょう。

年末年始を無事故・無災害で乗り切り、地域の皆様から信頼される施工会社であり続けるためには、一人ひとりの安全意識と、日々の確実な行動の積み重ねが不可欠です。皆さんが笑顔で新しい年を迎えられるよう、今一度気を引き締め「無事故・無災害」に取り組んでいきましょう。ご安全に！

11 月度合同パトロール

11月12日(木)13:00 より
協 力 会：㈱山栄工務店、ナガタ工業㈱
安衛委員：木本･稲垣･匹田･松永
以上6名で実施しました。

『寸評』　安全衛生委員会

11月度の合同パトロールは、土木現場「R7桂川横大路下島地区上流堤防強化他工事」を、安全協力会2名、安全衛生委員会4名の計6名で実施しました。

当日は、秋晴れの中､『アーク溶接作業の確認、クレーン災害の防止』を主眼に､安全パトロールを行いました。

◆　R7桂川横大路下島地区上流堤防強化他工事

当工事は、昨年に引き続き、桂川左岸の浸水、治水対策工事の一環で、鋼矢板を打設することにより、横大路地区の浸水を防止する工事で、昨年の施工箇所より、約500m上流側になります。また、今回は、宇治川五ヶ庄地区の河道掘削工事も施工されています。

瀧所長より概要・進捗状況、当日の作業内容の説明を受け、重点目標の『アーク溶接作業の確認、クレーン災害の防止』を主眼に安全点検を行いました。当日の作業は、鋼矢板溶接・打設、宇治川の河道掘削で職員を含め37 名でした。

工　　期：令和8年4月6日～9年2月26日（326日間）
発 注 者：近畿地方整備局　淀川河川事務所
工事概要：【横大路地区】
　　矢板工（L=16～18.5m）　122枚
　　笠コンクリート工　109m
　　【宇治川五ヶ庄地区】
　　河道掘削　9,000m3
出 来 高：12.0%　（10/31現在）
安全成績：労働延人数=298人
　　休業災害0件･不休災害0件。（11/10現在）

≪良好な事項≫

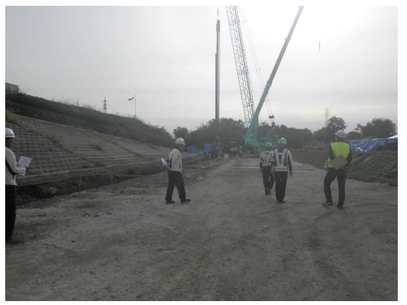
① 資機材整理整頓
② シート養生の飛散防止措置
③ 保護具着用管理責任者の掲示

≪改善・点検を要する事項≫

① 昇降タラップ手すりを外す時は、通行禁止
② ウェルダー・発電機は、水平に設置
③ 救急箱の未設置

■ 講評では、これから冬本番を迎え、寒さも一層厳しくなってきますので、休憩時のストーブの管理、各人の健康管理には留意するようお願いしました。

■ 瀧所長からは､「年内は、桂川と宇治川の2箇所施工となり、移動にも時間が掛かるため、厳しい状況ですが、効率よく乗り切って、正月を迎え、無事故無災害で完成させたいと思います。」とのコメントでした。





【R7 桂川横大路下島地区上流堤防強化他工事】

重 点 実 施 例

『大津市皇子が丘三丁目計画新築工事』
建築部　建築Ｇ　工事係　八木　夏輝

お疲れ様です。本現場は、長谷工コーポレーション様との JV 工事となっており、2028 年 10 月 26 日の竣工を目指して工事を進めています｡完成すれば 15 階建てマンションが 4 棟、5 階建て駐車場が 1 棟、2 階建て店舗が 1 棟完成する予定となっており、物件名称は「ブランズシティ大津京」となっています。

今現在の主な工事内容は、各棟の掘削と基礎配筋、仮設の組立のほか、様々な工事が日々行われています。それに伴い重視しているのが、それぞれの作業エリアでのエリア分けの徹底です。各エリアで様々な工事が行われている現在、各業者ごとの作業エリアを決めておかないと、各業者が好き勝手に搬入物や荷物を置きだして、通行路や場内を移動する重機や車などが移動できなくなるためです。特に毎日のように各棟を掘削するためにバックホウや残土搬出のダンプが多く移動する中、作業エリアを決めておかなければ作業自体が止まってしまうためです。なので単管バリケードや手すりなどで作業エリアをしっかり明示し、前日の昼礼で各エリアの立入禁止エリアを決め、当日の朝礼で全体に告知するようにしています。

まだまだ 2 年工期がありますが、1 歩 1 歩確実に進んでいこうと思っています。ご安全に！



京都市下京区五条通西洞院西入ル小柳町５１８　TEL.075-365-8303　FAX.075-365-8532





【大津市皇子が丘三丁目計画新築工事】

現 場 ニュース

『 安 衛 雑 感 』

土木部　土木Ｇ　工事所長　野澤　博之

現場ニュースということでしたが、自身の体調不良からの自宅療養・通院、認知症の父親の在宅介護があり、現場業務から 10 ヵ月ほど離れており、現在、書類作成の応援を主な業務として行っています。

現在おかれた状況を考えながら書類作成を行っていると、過去はどの様な状況だったかと思い出し考え込んでしまうこともあり、いろいろな思いが頭を駆け巡ります。私自身、入社以来 30 年以上が経過しましたが、半分以上の期間を NEXCO（旧、日本道路公団）の現場に携わってきました。最初の頃は手書きの書類・図面の作成、測量計算は関数電卓で行い計算結果の手書き資料を現場に持っていき、レベルとトランシットとテープ、たまに光波を使用しての測量・丁張業務、工事写真はフィルムカメラ撮影して写真屋で現像し、事務所との急ぎの連絡をトランシーバーで行い、今では考えられないような手間がかかることを行っていました。現在はパソコン・タブレット・スマートフォンでほとんどのことができるようになり、ネット環境が整っていれば、現場の状況を事務所など遠隔地からリアルタイムで目視確認しながらの、現場との連絡のやりとりをすることも可能となり、しみじみと「便利になったなあ」と思います。しかしながら、現場で実際に行動しなければならない必要不可欠な作業、業務は現在もこの先においても必ず存在していて、その現場での作業・業務では人が動いており、その現場で動いている人員への負担はどんどんと大きいものになっていっているように思います。

だからこそ、その現場での人員を守っていくための安全に対する意識・行動がますます重要となっていくのではないでしょうか。NEXCO 京都事務所のスローガンでもある『安全はすべてに優先する』を忘れずに。ご安全に！

安 衛 コ ラ ム

『過去最強の気象現象に学ぶ、冬への備え』

調達Ｇ　課長　石垣　修治

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、京都の街並みも秋色に染まってまいりました。

振り返れば今年の台風は例年になくハイペースで発生し、その背景には世界的な気象の異変がありました。気象庁の発表によると、現在発生しているエルニーニョ現象は海面水温の上昇幅が過去最大を記録し、歴史的な強さに達しています。

この影響により、京都府におけるこの冬の降雪予報は、暖冬傾向のため「日本海側を含めて平年より雪が少ない」見込みです。

しかし、決して油断はできません。降雪量は平年以下でも降水量は平年より多い見込みであり、一時的な強い寒波の到来によって局地的な大雪がもたらされるリスクも指摘されています。普段雪の少ない京都市内などの南部でも、突発的な積雪による交通機関の乱れには注意が必要です。

本格的な冬を迎える前に、スタッドレスタイヤへの早期交換や防寒グッズの準備など、まずは足元の安全対策から万全に整えていきましょう。ご安全に！

重 点 施 策

『年末に向けた災害防止』

年末は、繁忙期に伴う労働時間の増加、寒冷な気候による身体機能の低下、年末年始休業前後の工程の焦りなどから、労働災害のリスクが高まる時期です。特に建設現場では屋外作業が多く、大型重機の使用や地すべり・崩壊リスク、冬期の気象条件（凍結・降雪・強風）が直接影響します。

これらを踏まえ、以下の安全重点施策を実施してください。

- **重機・作業資機材の点検と接触防止対策の徹底**
  - バックホウ、クレーン、ダンプ、ブルドーザー等の作業半径内への立入禁止徹底（カラーコーンやトラロープによる明示）。
  - 誘導員の適正配置と統一された合図の徹底。
  - 玉掛け作業前の具資材点検および合図の徹底。
- **墜落・転落災害防止対策の再徹底**
  - 足場の手すり、安全ネット、親綱などの点検および設置状況の再確認。
  - フルハーネス型墜落制止用器具の適切な着用と「2 丁掛け」等フック常時掛けの徹底。
- **土砂・地山崩壊防止対策**
  - 掘削作業前の地山点検（クラック、湧水、浮石・転石の有無確認）。
  - 掘削面勾配の遵守、保護シート養生、水抜き工の点検（降雨・融雪・凍結融解対策）。
- **寒冷な気候への対応（凍結・防寒対策）**
  - 足場板や構内道路等の朝方の凍結によるスリップ・転倒防止（融雪剤の散布、早期清掃）。
  - 暖房器具使用に伴う火災防止および一酸化炭素中毒対策（換気の徹底）。
- **年末年始休業に向けた整理整頓と防犯・防災**
  - 現場内の「4S（整理・整頓・清掃・清潔）」徹底と資材の強風対策（固縛・養生・飛散防止）。
  - 最終作業日における火気使用後の最終確認および戸締まりの実施。
  - 休業期間中の第三者侵入防止（仮囲い・施錠の徹底、立入禁止表示の確認）。
  - 現場周辺の清掃・道路洗浄および看板・安全標識の整理整頓。
- **無理のない工程管理と体調管理**
  - 年内完了を焦ることによる不安全行動や無理な作業の防止（工程見直しと余裕を持った計画）。
  - 朝礼時の健康観察の徹底と、寒さによる身体の硬直をほぐす準備体操の実施。

基本を徹底し、全員で無事故・無災害の年末を迎えましょう。

ご安全に！

土木部 高速維持グループ

◆事務局からのお知らせ◆

■ **建設業年末年始労働災害防止強調期間**

期　　間：令和８年 12 月１日～令和９年１月 15 日

スローガン：『無事故の歳末　明るい正月』





■ **安全衛生協力会・委員会合同パトロールの予定**

日　時：令和８年 12 月 10 日(木) 13：00～15：30

場　所：R7 由良川岩沢提改築工事

■ **第 62 回京都府建設業労働災害防止大会**

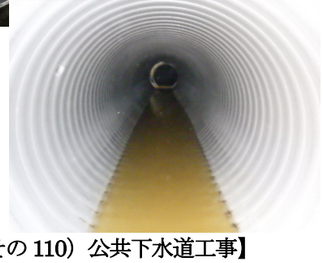
日　　時：令和８年 11 月 18 日(水) 13：00～15：50

場　　所：ロームシアター京都サウスホール



■ **工事完成：ご苦労様でした。**





【管路地震対策（その 110）公共下水道工事】